

先輩会員から教わったこと

ロータリークラブに入会（1987年）させていただいたころ、炉端会議で、ある先輩会員から教わったことは、「ロータリーを学び、実践するロータリアンの会社は潰れない」ということ。

また、「従業員がそれぞれの地域で社会奉仕に参加できるように会社を発展させることがロータリアンの職業奉仕である。それには四つのテスト、言行はこれに照らしてから、1. 真実かどうか、2. みんなに公平か、3. 好意と友情を深めるか、4. みんなのためになるかどうかを実践する」こと。

さらに、「家庭と仕事は表裏一体だ。家庭がうまくいけば、仕事もうまくいく。家庭がうまくいってなければ、仕事もうまくいかない。自分が幸せでなければ、奉仕活動もなにも出来ない。だから幸せになりなさい」ということばは今でも記憶に残っています。

先輩の教えに感謝しながらこれからも幸せになります。